

凍結防止対策のお願い

寒い季節になりました。

冬の時期は水道管の破裂や給湯器の凍結故障が起こる場合があります。

『寒い』と感じたら、給湯機器の破損や水道管凍結の恐れがあります。

下記凍結防止対策を参考に措置を講じてみてください。

また年末年始の帰省の前にも各自で確認を行ってください。

①ガス給湯器の予防方法

給湯器内の凍結予防ヒーター等が、凍結の恐れのある気温になると**自動的に**作動します。

注意事項

電気コンセントを抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください！
※凍結予防ヒーター等が作動しなくなります。

年末年始の帰省の際にブレーカーを全て落とされる方がいらっしゃいますのでご注意ください。



②給水および給湯配管等の凍結防止対策

《通水の措置》

1. 給湯器の運転スイッチを『切』にする。
2. お風呂の給湯栓（お湯側）を開いて、少量の水を流したままにしておく。
（1分間に約400CC、水の太さ4mm程度）



4mmくらい
（約400cc/1分間）

その他にも[山口市上下水道局](#)のホームページには『凍結の防止』、『凍結したときの対処法』の案内がありますのでご参照ください。

[山口市上下水道局トップ](#)>お知らせ>水道管の冬支度について